

## 眼科学教室業績【2023年度】

### 講演

1. 水野雅春, 中島康介, 高橋綾, 石田友香, 廣田和成, 厚東隆志, 平形明人, 井上真: 裂孔原性網膜剥離に対する COVID-19 パンデミックの影響. 第 127 回日本眼科学会総会. 東京. 2023 年 4 月 6 日.
2. 高橋綾, 厚東隆志, 渡邊裕斗, 水野雅春, 石田友香, 井上真, 片岡恵子: 加齢黄斑変性に続発した黄斑下出血の視力予後と臨床的特徴. 第 127 回日本眼科学会総会. 東京. 2023 年 4 月 6 日.
3. 重安千花, 山田昌和, 西田希, 大家義則, 川崎良, 西田幸二: 前眼部形成異常の診療ガイドラインの使用状況実態調査. 第 127 回日本眼科学会総会. 東京. 2023 年 4 月 6 日.
4. 渡邊裕斗, 片岡恵子, 武内潤, 堀江寿雲, 太田光, 中山真紀子, 西口康二, 岡田アナベルあやめ: 超広角光干渉断層計を用いた aflibercept および faricimab 投与後の脈絡膜厚変化の比較. 第 127 回日本眼科学会総会. 東京. 2023 年 4 月 6 日.
5. 大家義則, 西田希, 重安千花, 川崎良, 山田昌和, 西田幸二: 無虹彩症の診療ガイドラインの使用状況実態調査. 第 127 回日本眼科学会総会. 東京. 2023 年 4 月 6 日.
6. 向井亮, 片岡恵子, 田中公二, 宮良安宣, 丸子一朗, 中山真紀子, 渡邊裕斗, 山本亜希子, 若月優, 小野江元, 湧川空子, 寺尾信宏, 長谷川泰司, 和泉雄彦, 河合萌子, 丸子留佳, 板垣可奈子, 本庄純一郎, 岡田アナベルあやめ, 森隆三郎, 古泉英貴, 飯田知弘, 石龍鉄樹: 治療歴のない滲出型加齢黄斑変性に対するファリシマブ硝子体内投与の短期成績. 第 127 回日本眼科学会総会. 東京. 2023 年 4 月 6 日.
7. 山本雅, 矢田長洋, 内田裕規, 齊藤恒浩, 北善幸: 強度近視眼における iStent inject® W の眼圧下降効果についての検討. 第 127 回日本眼科学会総会. 東京. 2023 年 4 月 7 日.
8. 齊藤翔子, 慶野博, 中山真紀子, 林勇海, 阿部慎也, 中村友子, 高崎一郎, 安藤良将, 長堀克哉, 岡田アナベルあやめ: 血清 miRNA を用いた急性帯状潜在性網膜外層症および多発消失性白点症候群の比較. 第 127 回日本眼科学会総会. 東京. 2023 年 4 月 7 日.
9. 志村雅彦, 越智晴香, 大澤志乃, Haskova Z, Silverman D, Ives J, Tang Y, Lin H, 平形明人: Faricimab in DME: 2-year results from the Japanese subgroup of the YOSEMITE trial. 第 127 回日本眼科学会総会. 東京. 2023 年 4 月 7 日.
10. 井上真: 進化したデバイスを用いたMIVS. 患者にも術者にも負担の少ない硝子体手術. 第127

回日本眼科学会総会．東京．2023年4月8日．

11. 慶野博：感染性ぶどう膜炎の診断のプロセス．第127回日本眼科学会総会．東京．2023年4月9日．
12. 厚東隆志：ビッグデータとスモールデータで考える硝子体手術とバックリング手術の境界．第127回日本眼科学会総会．東京．2023年4月9日．
13. 武内潤，片岡恵子，堀江寿雲，太田光，渡邊裕斗，中山真紀子，岡田アナベルあやめ，西口康二：脈絡膜血管透過性亢進所見と超広角光干渉断層計により評価した脈絡膜構造の関係．第127回日本眼科学会総会．東京．2023年4月9日．
14. 安住祥，山本雅，矢田長洋，北善幸：飼い犬との接触が誘因となった濾過胞感染の1例．第13回東京多摩眼科連携セミナー．三鷹市．2023年4月15日．
15. 大山文弘，中島康介，水野雅春，石田友香，厚東隆志，井上真：外科的治療を要した未治療糖尿病網膜症患者の一例．第13回東京多摩眼科連携セミナー．三鷹市．2023年4月15日．
16. Stewart MW, Pielen A, Okada AA, Scholz P, Zhang X, Machewitz T, Fitzpatrick S: A post hoc analysis of intravitreal aflibercept-treated patients from ARIES & ALTAIR applying treatment regimen criteria from TENAYA & LUCERN. the 2023 ARVO Annual Meeting. USA. April 23th. 2023.
17. Inoue M: Pediatric complicated cases (tips). the 2nd edition of Vitreoretinal Experience Congress. Italy. May 11th. 2023.
18. Inoue M: Retinaws. the 2nd edition of Vitreoretinal Experience Congress. Italy. May 13th. 2023.
19. 厚東隆志，新井千賀子：強度近視のロービジョンケア．第5回日本近視学会総会．福岡市．2023年5月14日．
20. Inoue M: Surgical treatment for myopic traction maculopathy. China-Japan Forum in macular complications of high myopia. Online. May 21st. 2023.
21. 厚東隆志：デバイスがもたらす Surgeon Quality の向上～網膜硝子体手術～．第73回九州眼科学会総会．福岡市．2023年5月27日．
22. 福井正樹：ムチン（臨床研究）から慢性眼表面炎症疾患（基礎研究）まで．第16回箱根ドライアイクラブ．豊橋市．2023年5月27日．
23. 慶野博：症例から学ぶぶどう膜炎診療～感染性ぶどう膜炎と非感染性ぶどう膜炎の鑑別のポイント～．第16回四国 Eye ランドセミナー．高松市．2023年5月28日．

24. 福井正樹：ライブサージェリー！？白内障手術併用全層角膜移植．第 11 回 MILD の会．東京・オンライン．2023 年 6 月 9 日．
25. 厚東隆志：糖尿病網膜症の全体図．中外製薬社内講演会．東京．2023 年 6 月 13 日．
26. Okada AA: What COVID-19 vaccination taught me about uveitis. Annual Meeting of the Academia Ophthalmological Internationalis. Czech Republic. June 14th. 2023.
27. 浅川庸介, 鈴木由美, 石田友香, 満川忠宏, 富田茜, 平形明人, 井上真：色鉛筆による小児眼外傷の一例．第 48 回日小児眼科学会総会．仙台市．2023 年 6 月 16 日．
28. 渡辺龍之介, 鈴木由美, 満川忠宏, 富田茜, 浜由起子, 山田昌和：高 AC/A 比の部分調節性内斜視に Slanted Bilateral Medial Rectus Recession を施行した 3 症例．第 79 回日本弱視斜視学会．仙台市．2023 年 6 月 16 日．
29. 山田昌和：アイフレイルと眼科医療の役割．第 16 回日本心療眼科研究会．東京．2023 年 6 月 18 日．
30. Keino H, Nakayama M, Nagahori K, Saito S, Okada AA: Clinical outcomes of adalimumab in real-world treatment of non-infectious uveitis from a single tertiary center in Tokyo. the 23rd Annual Meeting of the Federation of Clinical Immunology Societies. USA. June 21th. 2023.
31. 熊谷真里子, 松木奈央子, 山田健司, 津田麻祐子, 久須見有美, 渡辺交世, 慶野博, 岡田アナベルあやめ：小児ぶどう膜炎の併発白内障．第 38 回日本白内障屈折矯正手術学会．札幌市．2023 年 6 月 22 日．
32. 北善幸：進化する緑内障診断と治療．第 4 回北多摩北部 ROCK セミナー．武蔵野市．2023 年 6 月 23 日．
33. 井上真：光学的特徴を持つ眼内レンズ挿入眼の眼底視認性．第 38 回日本白内障屈折矯正手術学会．札幌市．2023 年 6 月 24 日．
34. Inoue M: Evaluations of bridging sutures in preventing iris capture in eyes with intrascleral fixation of implanted intraocular lens. 10th International Symposium Asia Pacific Retinal Imaging Society (APRIS) 2023. Republic of Korea · online. June 30th. 2023.
35. Kataoka K: Choroidal hemodynamics in central serous chorioretinopathy after half-dose photodynamic therapy and the effects of smoking. 10th International Symposium Asia Pacific Retinal Imaging Society (APRIS) 2023. Republic of Korea · online. June 30th. 2023.
36. Takeuchi J, Yoshikawa Y, Mizuno M, Koto T, Inoue M: Hypo-autofluorescent crack lesions

induced by postoperative low intraocular pressure after micro-incision vitrectomy. 10th International Symposium Asia Pacific Retinal Imaging Society (APRIS) 2023. Republic of Korea • online. June 30th. 2023.

37. 井上真：画像鮮明化の有用性について．画像鮮明化～リアルタイム画像鮮明化・復元高解像度化～．第29回日本糖尿病眼学会総会．札幌市．2023年7月1日．
38. 井上真：増殖糖尿病網膜症への治療戦略．第29回日本糖尿病眼学会総会．札幌市．2023年7月1日．
39. 井上真：症例から学ぶ網膜硝子体手術．Ophthalmic Surgery Seminar．秋田市．2023年7月8日．
40. 慶野博：生物学的製剤導入における眼科と内科の連携ポイント．第56回日本眼炎症学会．大阪市．2023年7月8日．
41. 長堀克哉，慶野博，中山真紀子，齊藤翔子，林勇海，安藤良将，渡辺交世，岡田アナベルあやめ：難治性網膜血管炎に対してアダリムマブを導入した2例の臨床経過の検討．第56回日本眼炎症学会．大阪市．2023年7月8日．
42. 井上真：どえりゃええよ！Digitally Assisted Surgery．東海エリア眼科シンポジウム2023．名古屋市．2023年7月13日．
43. 厚東隆志：手術機器と観察系の進歩が拓く硝子体手術の現在．第9回黄斑疾患フォーラムin Hanshin．西宮市．2023年7月15日．
44. 北善幸：緑内障ガイドライン CQ をどう捉える？．多摩地区緑内障勉強会 AYR 2023．オンライン．2023年7月22日．
45. 片岡恵子：パキコロイド最前線！．第39回日本眼循環学会．奈良市．2023年7月22日．
46. 田邊知佳，片岡恵子，中山真紀子，山本亜希子，岡田アナベルあやめ：急性期の中心性漿液性脈絡膜症の網膜色素上皮異常の特徴．第39回日本眼循環学会．奈良市．2023年7月23日．
47. Inoue M: Progress in Initiatives for Internationalization by the Japanese Retina and Vitreous Society. International Symposium. 41st Annual Meeting of the American Society of Retina Specialists. USA • Online. July 28th. 2023.
48. Mizuno M, Nakajima K, Takahashi A, Ishida T, Hirota K, Koto T, Hirakata A, Inoue M: Effect of the COVID-19 Pandemic on Surgical Outcomes for Rhegmatogenous Retinal

Detachments. 41st Annual Meeting of the American Society of Retina Specialists. USA · Online. July 28th. 2023.

49. Inoue M, Nakajima K, Mizuno M, Ishida T, Koto T: Image sharpening algorithms in Heads-up surgery with Ngenuity 3D Visualization System. 41st Annual Meeting of the American Society of Retina Specialists. USA · Online. July 28th-August 2nd. 2023
50. Stewart MW, Pielen A, Okada AA, Scholz P, Zhang X, Machewitz T, Fitzpatrick S: A post hoc analysis of intravitreal aflibercept-treated patients from ARIES & ALTAIR applying treatment regimen criteria from TENAYA & LUCERN. 41st Annual Meeting of the American Society of Retina Specialists. USA · Online. July 28th-August 2nd. 2023.[み仲1][MSOffice2]
51. 北善幸: 進化する緑内障診断と治療. 興和株式会社社内研修会. 調布市. 2023年7月31日.
52. 慶野博: 症例から学ぶぶどう膜炎診療～感染性ぶどう膜炎と非感染性ぶどう膜炎の鑑別のポイント～. 第16回鳥取県眼科フォーラム. オンライン. 2023年8月5日.
53. 鈴木由美: こどもの目の成長教室. 小倉眼鏡主催一般向け公開講座. 東京. 2023年8月19日.
54. 矢田長洋: 角膜浮腫を伴う開放隅角緑内障に対し線維柱帯切除術を行った1例. Tokyo Glaucoma Retina Joint Conference 2023 Summer. オンライン. 2023年8月25日.
55. 岡田アナベルあやめ: 注意すべき病: 加齢性眼疾患. 第36回目の健康講座. 福岡市. 2023年8月26日.
56. 井上真: Epiretinal proliferationの不思議. Japan Macula Club. 蒲安市. 2023年8月26日.
57. 井上真: 虹彩捕獲に対するbridging-suture法. Osaka Retina meeting. 大阪市. 2023年9月2日.
58. 井上真: 術中ガイドminimal-invert法. Osaka Retina meeting. 大阪市. 2023年9月2日.
59. 岡田アナベルあやめ: Border Diseases: メディカルレチナとぶどう膜炎の境界に存在している疾患+アルファのお話. 第32回愛知眼科フォーラム. 名古屋市. 2023年9月3日.
60. 厚東隆志: アトピー眼症に対する手術療法を考える. 白内障・網膜剥離編. 第6回日本眼科アレルギー学会. 東京. 2023年9月3日.
61. Yokoi T, Ishida T, Suzuki Y, Inoue M: Vitrectomy with inner retinotomy for retinal detachment and bullous inner retinoschisis. 4th International advances in Pediatric Retina Meeting. USA. September 7th. 2023.

62. Okada AA: Epidemiology of Complications in Pediatric Uveitis. 17th International Ocular Inflammation Society Congress and 7th Assembly of Ocular Inflammation Societies. Germany. September 7th. 2023.
63. Keino H: Quantitative analysis of retinal vascular leakage in retinal vasculitis using machine learning. 17th International Ocular Inflammation Society Congress and 7th Assembly of Ocular Inflammation Societies. Germany. September 8th 2023.
64. 成田文洋, 北善幸, 山本雅, 矢田長洋, 齋藤恒浩: 前眼部 OCT を用いた原発閉塞隅角緑内障眼における部位別の虹彩厚の検討. 第 34 回日本緑内障学会. 東京. 2023 年 9 月 8 日.
65. 鈴木由美: こどもの眼の健康について. 三鷹市学校保健委員会主催 学校保健講演会. 三鷹市. 2023 年 9 月 14 日.
66. 井上真: 術中OCTを使用した近視性牽引黄斑症へのアプローチ. 第1回Yokohama Retina Council. 横浜市. 2023年9月15日.
67. 山田昌和: 症例から学ぶ角結膜疾患の診療. 杉並区医師会学術講演会. 東京. 2023 年 9 月 15 日.
68. 矢田長洋: 手技と術後管理. 今夜解決! オンライン相談会-iStent inject® W をもっと知ろう! Part7. オンライン. 2023 年 9 月 20 日.
69. 平形明人: 見逃しやすい糖尿病網膜症所見. 10th Retina Today in Kurume. オンライン. 2023 年 9 月 29 日.
70. 慶野博, 中山真紀子, 長堀克哉, 齊藤翔子, 岡田アナベルあやめ: 難治性眼炎症疾患 WS2-4 Clinical outcomes of adalimumab in real-world treatment of non-infectious uveitis from a single tertiary center in Tokyo. 第 51 回日本臨床免疫学会総会. 東京. 2023 年 10 月 5 日.
71. 鈴木由美, 富田茜, 満川忠宏, 浜由起子, 坂口幸翼, 福島啓太, 吉岡達也, 大原有紗, 山田昌和: 固定内斜視を呈した壮年期 21-trisomy の 3 症例. 第 77 回日本臨床眼科学会総会. 東京. 2023 年 10 月 6 日.
72. 片岡恵子: 加齢黄斑変性の病態生理~黄斑新生血管と黄斑萎縮~. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 6 日.
73. 片岡恵子, 板垣可奈子, 橋谷臨, 湧川空子, 田中公二, 中山真紀子, 山本亜希子, 向井亮, 小笠原雅, 本庄純一郎, 丸子一朗: Six-month outcomes of aflibercept to faricimab switching in neovascular AMD. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 6 日.
74. 古泉英貴, 五味文, 辻川明孝, 本田茂, 森, 隆三郎, 越智晴香, 岩崎敬介, 岡田アナベルあや

- め : Faricimab in nAMD: 2-year results from TENAYA Japan subgroup. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 6 日.
75. 仁科幸子, 吉田朋世, 林思音, 森川葉月, 大西瑞恵, 横井匡 : 小児難治性緑内障に対するマイクロパルス経強膜的毛様体光凝固術. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 6 日.
76. 根岸貴志, 佐藤美保, 杉山能子, 林思音, 横山吉美, 横井匡, 彦谷明子 : 「Stop! 弱視見逃し」眼科医にできること. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 6 日.
77. 平塚義宗, 川崎良, 小野浩一, 山田昌和, 山下英俊 : 眼科医のための臨床疫学研究デザイン塾 5 臨床疫学研究論文の組み立て方. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 6 日.
78. 井上真 : 網膜硝子体手術における ARTEVO800 の有用性. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 7 日.
79. 厚東隆志 : 超広角眼底画像ケースカンファレンス. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 7 日.
80. 長堀克哉, 慶野博, 中山真紀子, 齊藤翔子, 安藤良将, 渡辺交世, 岡田アナベルあやめ : 実臨床における非感染性ぶどう膜炎に対するアダリムマブの治療効果と安全性の検討. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 7 日.
81. 佐藤尚人, 向後二郎, 米田一仁, 大澤俊介, 平形明人, 中尾新太郎 : 硝子体手術クエスチョンバンク タイプ別! 剥離編. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 7 日.
82. 井上真 : 画像鮮明化の定量的評価. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 8 日.
83. 山田昌和, 平塚義宗, 加藤圭一, 鹿野由利子, 杉山和久, 辻川明孝 : アイフレイルチェックリストの妥当性の検証. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 8 日.
84. 中島康介, 武内潤, 横井匡, 水野雅春, 石田友香, 厚東隆志, 井上真 : 広角光干渉断層計を用いた網膜裂孔に付着した硝子体の評価. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 8 日.
85. 武内潤, 中島康介, 水野雅春, 石田友香, 厚東隆志, 井上真 : 硝子体手術後に上方裂孔から生じた網膜再剥離に対する pneumatic retinopexy の検討. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 8 日.
86. 浅川庸介, 中島康介, 井上真 : 改良型 LED 光源コードレス双眼倒像鏡. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 8 日.
87. 小澤仁美, 原章仁, 熊井しんたろう, 眞田笑吉, 村野祐司, 吉村渉, 梶村陽一, 荻原芳彦, 前田晃仁, 井上真, 厚東隆志 : HUS システムにおける 3D 色空間を用いた色域再現性の定量化

- の有用性. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 8 日.
88. 井上真: 日本網膜硝子体学会からの取り組み. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 9 日.
89. 井上真: バビースモ. 糖尿病黄斑浮腫治療への抗 VEGF 製剤徹底討論, そして未来へ. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 9 日.
90. 厚東隆志, 水野雅春, 中島康介, 武内潤, 横井匡, 石田友香, 井上真: 硝子体鉗子の網膜面へ与える圧力の測定. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 9 日.
91. 大鹿哲郎, 永本敏之, 黒坂大次郎, 根岸一乃, 森隆史, 吉田茂生, 宮城麻衣, 野村耕治, 遠藤高生, 鶴木則之, 松木奈央子, 仁科幸子: 先天白内障手術長期成績に関する多施設スタディ. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 9 日.
92. 藤本聡子, Kokame G, 平形明人, 西田幸二: 乳頭ピットあるいは緑内障性乳頭陥凹を伴わない乳頭黄斑間網膜分離症の治療の検討. 第 77 回日本臨床眼科学会. 東京. 2023 年 10 月 9 日.
93. 市川喜理, 富田茜, 鈴木由美, 井上真: 鈍的外傷が原因と考えられた水晶体後囊破損を伴う外傷性白内障の 1 例. 第 66 回東京多摩眼科集談会. 三鷹市. 2023 年 10 月 21 日.
94. 遠坂瞳, 伊藤大, 成田文洋, 長堀克哉, 宮田世羽, 渡辺敏樹, 慶野博: ステロイド全身投与と免疫グロブリン大量静注療法により改善を認めた抗 MOG 抗体陽性小児視神経炎の 1 例. 第 66 回東京多摩眼科集談会. 三鷹市. 2023 年 10 月 21 日.
95. Inoue M: Flow dynamics of vitrectomized eyes evaluated by iris fluttering with anterior segment optical coherence tomography. 2023 Taiwan Retina Society Annual Meeting. Taiwan. October 22nd. 2023.
96. 片岡恵子: 『最近の進歩 44』網脈絡膜循環の基礎と臨床 OCT-A を用いた脈絡膜微細構造の描出と診療への応用. 日本眼科学会専門医制度第 78 回講習会プログラム. オンデマンド. 2023 年 10 月 23-11 月 22 日.
97. 井上真: ガイドラインから学ぶ糖尿病網膜症治療. 福井内眼糖講演会. 福井市. 2023 年 10 月 27 日.
98. Inoue M: Application of Intraoperative OCT. Surgical Retina Webinar 2023. Beijing Pediatric retina. Online. November 4th. 2023.
99. 厚東隆志: 感覚の世界の定量化~HUS と 27G システムを数値で見る~. 眼科手術アップデートセミナー in Okinawa 2023. オンライン. 2023 年 11 月 4 日.

100. 山田昌和：アイフレイルとプチビジョンケア. 第 25 回西東京眼科フォーラム. 武蔵野市. 2023 年 11 月 8 日.
101. 福井正樹：角膜移植の過去・現在・未来. 第 25 回西東京眼科フォーラム. 武蔵野市. 2023 年 11 月 8 日.
102. 横井匡：押さえておきたい小児網膜疾患. 第 25 回西東京眼科フォーラム. 武蔵野市. 2023 年 11 月 8 日.
103. Koto T: Repair that retina - complex surgeries- bimanual “slide and squeeze” technique. The 3rd Asia Retina Congress. Yokohama. November 9th. 2023.
104. 厚東隆志：眼科手術の art と science～手術教育と手術理念～. 麻布高等学校 総合教養「現代医療について考える」. 東京. 2023 年 11 月 18 日.
105. 厚東隆志：硝子体手術の進歩と、その感覚の定量化. 第 37 回千葉県眼科手術懇話会. 千葉市. 2023 年 11 月 18 日.
106. Inoue M: Image sharpening technology for 3D heads-up surgery. The 64th Annual meeting of the Ophthalmological Society of Taiwan. Taiwan. November 19th. 2023.
107. 清水悠多, 畑中裕司, 慶野博：前眼部 OCT 画像のテクスチャ特徴を用いたぶどう膜炎の前房細胞グレードの推定. 第 4 回日本眼科 AI 学会総会. 横浜市. 2023 年 11 月 23 日.
108. 片岡恵子：網膜硝子体 Debate. 加齢黄斑変性 光線力学的療法 vs.抗 VEGF 単独療法. ～抗 VEGF 単独療法の立場から～. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 横浜市. 2023 年 11 月 24 日.
109. 横井匡：網膜硝子体 Debate. 未熟児網膜症 抗 VEGF 療法 vs.網膜光凝固. ～網膜光凝固の立場から～. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 横浜市. 2023 年 11 月 24 日.
110. 水野雅春：白熱！硝子体倶楽部-Round7-. 抜いたが最後？. [MSOffice3]第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪市. 2023 年 11 月 24 日.
111. 武内潤, 渡辺龍之介, 中島康介, 石田友香, 伊藤大, 横井匡, 水野雅春, 厚東隆志, 井上真：糖尿病網膜症の重症度判定における画像鮮明化装置の有用性の検討. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪市. 2023 年 11 月 24 日.
112. 中川直哉, 宮良安宣, 向井亮, 橋谷臨, 渡邊裕斗, 小野江元, 若月優, 田中公二, 湧川空子, 寺尾信宏, 板垣可奈子, 本庄純一郎, 丸子一朗, 河合萌子, 丸子留佳, 長谷川泰司, 片岡恵子, 中山真紀子, 山本亜希子, 岡田アナベルあやめ, 飯田知弘, 石龍鉄樹, 古泉英貴, 森隆三郎：病的近視の脈絡膜新生血管に対するラニビズマブバイオシミラー硝子体内注射の短期成

績. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 横浜市. 2023 年 11 月 24 日.

113. 向井亮, 中山真紀子, 田中公二, 湧川空子, 丸子一朗, 板垣可奈子, 本庄純一郎, 片岡恵子, 山本亜希子, 渡邊裕斗, 小野江元, 若月優, 寺尾信宏, 宮良安宣, 橋谷臨, 河合萌子, 丸子留佳, 長谷川泰司, 飯田知弘, 古泉英貴, 森隆三郎, 岡田アナベルあやめ, 石龍鉄樹: 未治療の滲出型加齢黄斑変性に対するファリシマブの treat-and-extend での長期治療成績. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 横浜市. 2023 年 11 月 24 日.
114. 井上真: もう昔には戻れない, NGENUITY1.5 で広がる新たなステージ. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪市. 2023 年 11 月 25 日.
115. 厚東隆志, 水野雅春, 中島康介, 武内潤, 横井匡, 石田友香, 井上真: 硝子体鉗子の網膜面との動摩擦係数およびグリップ力の測定. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪市. 2023 年 11 月 25 日.
116. 片岡恵子: AMD を含むパキコ疾患におけるイメージングの活用法. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪市. 2023 年 11 月 25 日.
117. 中島康介, 厚東隆志, 伊藤大, 武内潤, 横井匡, 水野雅春, 石田友香, 井上真: 3D Heads-up surgery に於ける新型モニターの評価. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪市. 2023 年 11 月 25 日.
118. 金井耀, 武内潤, 水野雅春, 石田友香, 厚東隆志, 井上真: 難治性黄斑円孔に対する意図的黄斑剥離を併用した硝子体手術成績. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪市. 2023 年 11 月 25 日.
119. 盧錫恩, 横井匡, 水野雅春, 石田友香, 片岡恵子, 厚東隆志, 井上真: 難治性黄斑円孔に対する Viscodissection を用いた黄斑剥離併用硝子体手術. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪市. 2023 年 11 月 25 日.
120. 片岡恵子: nAMD の長期マネージメントの課題とバビーズモへの期待. 第 62 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪市. 2023 年 11 月 26 日.
121. Okada AA, Nakayama M, Hayashi I, Keino H: COVID-19 vaccination-related uveitis. The 3rd Asia Retina Congress. 横浜市. 2023 年 11 月 26 日.
122. Inoue M: Update visibility enhancement in 3D heads-up surgery. PCV Summit 2023. Online. December 2nd. 2023.
123. 岡田アナベルあやめ: Border Diseases: メディカルレチナとぶどう膜炎の境界に存在している疾患. 奈良県立医科大学眼科同窓会勉強会. 大阪市. 2023 年 12 月 2 日.

124. 慶野博：眼所見から考えるぶどう膜炎診療。第54回東京都眼科医会研修会。東京。2023年12月2日。
125. 厚東隆志：模擬医局カンファレンス -糖尿病網膜症治療の実際-。中外製薬社内講演会。東京。2023年12月9日。
126. Kataoka K, Itagaki K, Hashiya N, Wakugawa S, Okada AA, Japan AMD Research Consortium (JARC): Six-month outcomes of switching from aflibercept to faricimab in refractory cases of neovascular age-related macular degeneration. The 16th Congress of the Asia-Pacific Vitreo-retina Society. China. December 8th. 2023.
127. Inoue M: Enhancement of visibility in 3D heads-up surgery. The 16th Congress of the Asia-Pacific Vitreo-Retina Society. China. December 9th. 2023.
128. Kanai A, Lu X, Takeuchi J, Mizuno M, Ishida T, Koto T, Inoue M: Surgical outcome for degenerative lamellar macular hole. The 16th Congress of the Asia-Pacific Vitreo-Retina Society. China. December 9th. 2023.
129. Lu X, Takeuchi J, Kanai A, Ishida T, Koto T, Inoue M: The clinical outcome of tractional lamellar macular hole treated by pars plana vitrectomy. The 16th Congress of the Asia-Pacific Vitreo-Retina Society. China. December 9th. 2023.
130. 竹内大，臼井嘉彦，南場研一，慶野博，竹内正樹，高瀬博，鴨居巧樹，長谷敬太郎，伊東崇子，中井慶，丸山和一，小林恵理，堀純子，真下永，佐藤智人，大黒伸行，岡田アナベルあやめ，園田康平，後藤浩，水木信久：ベージェット病ぶどう膜炎に対するインフリキシマブ治療10年のポストホック解析：他施設研究。第6回日本ベージェット病学会。東京。2023年12月9日。
131. Inoue M: Retinal detachment associated with disc anomaly. Xiaoxiang Retina Forum 2023. Online. December 24th. 2023.
132. 井上真：症例から学ぶ網膜硝子体手術。13th New Year Ophthalmic Seminar 2024 in 東海。名古屋市。2024年1月6日。
133. Inoue M: Treatment strategy for optic disc pit maculopathy. 2024 the Taiwan Macula Society Surgical and Medical Master Class 2024. Taiwan. January 14th. 2024.
134. Inoue M: Inner retinotomy for retinal detachment in eyes with X-linked retinoschisis (XLRS). 2024 the Taiwan Macula Society Surgical and Medical Master Class 2024. Taiwan. January 14th. 2024.

135. Inoue M: Retinal detachment associated with musculocontractual Ehlers-Danlos syndrome. 2024 the Taiwan Macula Society Surgical and Medical Master Class 2024. Taiwan. January 14th. 2024.
136. Inoue M: Retinal detachment associated with choroidal coloboma and morning glory syndrome. 2024 the Taiwan Macula Society Surgical and Medical Master Class 2024. Taiwan. January 14th. 2024.
137. Kataoka K : Six-month outcomes of switching from aflibercept to faricimab in refractory cases of neovascular age-related macular degeneration. 2024 the Taiwan Macula Society Surgical and Medical Master Class. Taiwan. January 14th. 2024.
138. Kataoka K : Predictive factors for outcomes of half-dose photodynamic therapy combined with aflibercept for pachychoroid neovascularopathy. 2024 the Taiwan Macula Society Surgical and Medical Master Class. Taiwan. January 14th. 2024.
139. Kataoka K : Five-year outcomes of treat and extend regimen using intravitreal aflibercept injection for treatment-naive age-related macular degeneration. 2024 the Taiwan Macula Society Surgical and Medical Master Class. Taiwan. January 14th. 2024.
140. 井上真 : DR/DME 診療. 中外製薬社内講演会. オンライン. 2024 年 1 月 16 日.
141. 井上真 : 症例から学ぶ網膜硝子体手術. 慶應義塾大学医学部眼科学教室招待講演. 東京. 2024 年 1 月 18 日.
142. 北善幸 : 進化する緑内障検査と治療. グラアルファ WEB カンファレンス. オンライン. 2024 年 1 月 22 日.
143. 厚東隆志 : ロービジョンケアにおける医師の立ち位置. ロービジョンケアセミナー. 東京. 2023 年 1 月 28 日.
144. 井上真 : 超実践! エキスパートが悩んだ症例から学ぶ「黄斑疾患におけるNGENUITY ver.1.5 の利点」. 第47回日本眼科手術学会総会. 京都市. 2024年2月3日.
145. 井上真 : 世話人特別セッション. MIOS Battle Royal 第7回MIOSの会. 京都市. 2024年2月3日.
146. 久須見有美, 山本雅, 玉田俊介, 福井正樹, 松本杏奈, 藤井かんな, 重安千花, 山田昌和 : 狭隅角による角膜内皮減少眼の前眼部形態の特徴. 第 48 回日本角膜学会総会. 東京. 2024 年 2 月 9 日.
147. 山本雅, 福井正樹, 松本杏奈, 久須見有美, 藤井かんな, 重安千花, 山田昌和 : 角膜上皮剥離

で治療した角膜上皮基底膜ジストロフィの角膜形状解析. 第 48 回日本角膜学会総会. 東京.  
2024 年 2 月 9 日.

148. 遠坂瞳, 福井正樹, 山本雅, 久須見有美, 山田昌和: 多層羊膜包装 (WUMAN) 術により修復した角膜潰瘍穿孔の 2 例. 第 48 回日本角膜学会総会. 東京. 2024 年 2 月 9 日.
149. 大家義則, 山口剛史, 小林顕, 宮田和典, 外園千恵, 山田昌和, 林孝彦, 臼井智彦, 川崎良, 西田幸二: 全国レジストリによる日本人フックス角膜内皮ジストロフィ患者の特徴. 第 48 回日本角膜学会総会. 東京. 2024 年 2 月 9 日.
150. 小泉遙, 大家義則, 宮田和典, 小林顕, 外園千恵, 山田昌和, 林孝彦, 山口剛史, 臼井智彦, 川崎良, 西田幸二: フックス角膜内皮ジストロフィ患者における重症度と自覚症状の関連についての研究. 第 48 回日本角膜学会総会. 東京. 2024 年 2 月 9 日.
151. 北善幸: まるわかり緑内障手術治療. 第 7 回武蔵野アイセミナー. 武蔵野市. 2024 年 2 月 15 日.
152. Chang A, Vision Academy Steering Committee (including Okada AA): Adapting to new therapeutic agents and treatment regimens: guidance for extending treatment intervals. 39th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress. Indonesia. February 22nd. 2024.
153. 北善幸: 緑内障手術治療について. 観血的治療法の選択. 横浜・横須賀クリニカルワークショップ. 横浜市. 2024 年 3 月 1 日.
154. Yamada M: Assessment of disease burden of dry eye. Asia Dry Eye Summit. Tokyo. March 8th. 2024.
155. 慶野博: メトトレキサート中止後に眼内腫瘍性病変の退縮を認めた関節リウマチ患者の 1 例. ぶどう膜炎カンファレンス. 東京. 2023 年 3 月 8 日.
156. 厚東隆志: 多彩な背景を持つ網膜硝子体フェローの教育戦略. 第 29 回網膜ラウンジ. 東京. 2023 年 3 月 9 日.
157. Kataoka K: Predictive factors of persistent subretinal fluid in acute-phase central serous chorioretinopathy. Fujiretina 2024. Tokyo. March 22th. 2024.
158. Inoue M: Retinaws. Fujiretina 2024. Tokyo. March 23th. 2024.
159. Koto T: Retinaws. Fujiretina 2024. Tokyo. March 23th. 2024.
160. Koto T: Quantitative evaluation of vitreous forceps characteristics. Fujiretina 2024. Tokyo. March 23th. 2024.
161. Mizuno M: A case of epithelial downgrowth with anterior proliferative vitreoretinopathy

after cataract surgery. Fujiretina 2024. Tokyo. March 23th. 2024.[MSOffice4]

162. Ohara H, Inoue M: A case of vitrectomy for rhegmatogenous retinal detachment after treatment for retinoblastoma. Fujiretina 2024. Tokyo. March 23th. 2024.
163. Tanabe C, Kataoka K, Nakayama M, Yamamoto A, Okada AA: Retinal pigment epithelial disturbances in acute-phase central serous chorioretinopathy. Fujiretina 2024. Tokyo. March 23rd. 2023.
164. Lu X, Takeuchi J, Kanai A, Ishida T, Koto T, Inoue M: The clinical outcome of tractional lamellar macular hole treated by pars plana vitrectomy. Fujiretina 2024. Tokyo. March 23th. 2024.
165. Kanai A, Lu X, Takeuchi J, Mizuno, Ishida T, Koto T, Inoue M: Surgical outcome for degenerative lamellar macular hole. Fujiretina 2024. Tokyo. March 23th. 2024.
166. Inoue M: Image enhancement in 3D heads-up surgery. Fujiretina 2024. Tokyo. March 24th. 2024.
167. Okada AA: COVID-19 vaccination-related uveitis. Fujiretina 2024. Tokyo. March 24th. 2023.
168. Koto T: Art of surgery. Fujiretina 2024. Tokyo. March 24th. 2024.
169. 平形明人：見逃しやすい糖尿病網膜症所見。第3回ちかさと霧島PBMセミナー。東京・オンライン。2024年3月30日。

## 論文

1. Amano S, Shimazaki J, Yokoi N, Hori Y, Arita R: Committee for Meibomian Gland Dysfunction Clinical Practice Guidelines (including Yamada M, Fukui M): Meibomian gland dysfunction clinical practice guidelines. Jpn J Ophthalmol. 67(4). 448-539. 2023. |
2. [MSOffice5]Emoto Y, Holló G, Kita Y, Saito T, Kita R: Influence of refractive error on circumpapillary structure-function vs. vessel density-function relationships in open-angle glaucoma. J Glaucoma. 32(8). 640-646. 2023.
3. Fujimoto S, Kokame GT, Ryan EH, Johnson MW, Hirakata A, Shirriff A, Ishikawa H, Adams OE, Bommakanti N: Macular retinoschisis from optic disc without a visible optic pit or advanced glaucomatous cupping (No Optic Pit Retinoschisis [NOPIR]). Ophthalmol

Retina. 7(9). 811-818. 2023.

4. Funahashi S, Ito Y, Kataoka K, Takeuchi J, Nakano Y, Fujita A, Horiguchi E, Taki Y, Terasaki H: Spontaneous closure of macular hole after vitrectomy for myopic retinoschisis with foveal detachment. *Retin Cases Brief Rep.* 17. 98-100. 2023. [MSOffice6]
5. Ishida T, Kita Y, Itoh Y, Mizuno M, Hirota K, Koto T, Inoue M, Hirakata A: Optical coherence tomographic findings of glaucomatous eyes with papillomacular retinoschisis. *Eye (Lond).* 38(2). 266-273. 2024.
6. Kataoka K, Itagaki K, Hashiya N, Wakugawa S, Tanaka K, Nakayama M, Yamamoto A, Mukai R, Honjyo J, Maruko I, Kawai M, Miyara Y, Terao N, Wakatsuki Y, Onoe H, Mori R, Koizumi H, Sekiryu T, Iida T, Okada AA, for Japan AMD Research Consortium (JARC): Six-month outcomes of switching from aflibercept to faricimab in refractory cases of neovascular age-related macular degeneration. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.* 262(1). 43-51. 2024.
7. Kanzaki Y, Matoba R, Ishihara K, Morita T, Muraoka Y, Kimura S, Koto T, Kawasaki R, Baba T, Okamoto F, Inoue M, Sakamoto T, Tsujikawa A, Morizane Y: Japan-epiretinal membrane (J-ERM) registry: A prospective cohort study protocol investigating the surgical outcome of epiretinal membrane. *PLoS One.* 19(2). e0297347. 2024. |
8. [MSOffice7] Koizumi H, Gomi F, Tsujikawa A, Honda S, Mori R, Ochi H, Iwasaki K, Okada AA, TENAYA and LUCERNE Investigators: Efficacy, durability, and safety of faricimab up to every 16 weeks in patients with neovascular age-related macular degeneration: 2-year results from the Japan subgroup of the phase 3 TENAYA trial. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.* 2024. DOI: 10.1007/s00417-024-06377-1. Online ahead of print.
9. Kusano Y, Den S, Yamaguchi T, Nishisako S, Fukui M, Shimazaki J: Risk factors for recurrence in the treatment of recurrent pterygium. *Cornea.* 43(6). 740-745. 2024.
10. Kusumi Y, Ando Y, Shigeyasu C, Fukui M, Yamada M: Levofloxacin susceptibility of Staphylococci from conjunctiva in patients with atopic dermatitis. *Jpn J Ophthalmol.* 68. 134-138. 2024. |
11. [MSOffice8] Mochizuki T, Kita Y, Uchida H, Saito T, Kiuchi Y: Preliminary outcomes of cataract surgery with iStent inject® W. *Hiroshima J Med Sci.* 72(3-4). 27-31. 2023.
12. Mukai R, Kataoka K, Tanaka K, Miyara Y, Maruko I, Nakayama M, Watanabe Y,

- Yamamoto A, Wakatsuki Y, Onoe H, Wakugawa S, Terao N, Hasegawa T, Hashiya N, Kawai M, Maruko R, Itagaki K, Honjo J, Okada AA, Mori R, Koizumi H, Iida T, Sekiryu T, Japan AMD Research Consortium (JARC): Three-month outcomes of faricimab loading therapy for wet age-related macular degeneration in Japan. *Sci Rep.* 13. 8747. 2023. |
13. [MSOffice9]Ohno-Matsui K, Akiba M, Ishibashi T, Hirakata A: Evaluation of morning glory syndrome by swept-source optical coherence tomography. *Retin Cases Brief Rep.* 17(5). 542-547. 2023.
  14. Obata S, Sawada O, Kakinoki M, Matsumoto R, Saishin Y, Ohji M; Japan-Retinal Detachment Registry Group (Hirakata A): Effects of internal limiting membrane peeling on anatomical and functional outcomes in macula-off rhegmatogenous retinal detachment complicated by proliferative vitreoretinopathy: Japan-Retinal Detachment Registry. *Jpn J Ophthalmol.* 67(4). 417-423. 2023. |
  15. [MSOffice10][MSOffice11][MSOffice12]Suzuki T, Yamaguchi T, Yagi-Yaguchi Y, Kasamatsu H, Tomida D, Fukui M, Shimazaki J: Three-dimensional assessment of descemet membrane reflectivity by optical coherence tomography in fuchs endothelial corneal dystrophy. *Cornea.* 43(2). 207-213. 2023.
  16. Thng ZX, Putera I, Testi I, Chan K, Westcott M, Chee SP, Dick AD, Kempen JH, Bodaghi B, Thorne JE, Barisani-Asenbauer T, de Smet MD, Smith JR, McCluskey P, La Distia Nora R, Jabs DA, de Boer JH, Sen HN, Goldstein DA, Khairallah M, Davis JL, Rosenbaum JT, Jones NP, Nguyen QD, Pavesio C, Agrawal R, Gupta V, TITAN consensus guidelines group (including Okada AA): The Infectious Uveitis Treatment Algorithm Network (TITAN) Report 1-global current practice patterns for the management of herpes simplex virus and varicella zoster virus anterior uveitis. *Eye (Lond).* 38(1). 61-67. 2024.
  17. Thng ZX, Putera I, Testi I, Chan K, Westcott M, Chee SP, Dick AD, Kempen JH, Bodaghi B, Thorne JE, Barisani-Asenbauer T, de Smet MD, Smith JR, McCluskey P, La Distia Nora R, Jabs DA, de Boer JH, Sen HN, Goldstein DA, Khairallah M, Davis JL, Rosenbaum JT, Jones NP, Nguyen QD, Pavesio C, Agrawal R, Gupta V, TITAN consensus guidelines group (including Okada AA): The Infectious Uveitis Treatment Algorithm Network (TITAN) Report 2-global current practice patterns for the management of cytomegalovirus anterior uveitis. *Eye (Lond).* 38(1). 68-75. 2024.

18. Yamamoto M, Yamada M, Kusumi Y, Fukui M, Shigeyasu C: Fulminant marginal keratitis induced by atezolizumab, a programmed death ligand 1 inhibitor for lung cancer. Case Rep Ophthalmol. 14(1). 673-678. 2023.
19. 慶野博, 齊藤翔子, 中山真紀子, 林勇海, 長堀克哉, 安藤良将, 岡田アナベルあやめ, 佐藤康彦, 阿部慎也, 神野英生, 市原巧介, 砂山渡, 畑中裕司, 坪下幸寛, 高橋一郎, 宮東昭彦, 杉田直: 眼炎症性疾患における炎症活動性の定量的評価の確率と新たな治療戦略を目指して. 第126回日本眼科学会総会 評議委員会指名講演Ⅱ 眼科診断: 治療のイノベーション. 日眼会誌. 127(3). 367-[MSOffice13]401. 2023.
20. 寺崎浩子, 東範行, 北岡隆, 日下俊次, 近藤寛之, 仁科幸子, 盛隆興, 山田昌和, 吉富健志, 未熟児網膜症眼科管理対策委員会: 未熟児網膜症に対する抗 VEGF 療法の手引き(第2版). 日眼会誌. 127(5). 570-578. 2023.
21. 荻原由梨奈, 山口剛史, 福井正樹, 佐々木文, 島崎潤: 慢性眼移植片対宿主病に伴う両眼角膜上皮幹細胞疲弊症へのアロ角膜輪部移植が奏効した1例. 日眼会誌. 127(6). 606-613. 2023.
22. 片岡恵子: 網膜硝子体硝子体注射. 臨眼. 77(11). 228-232. 2023.
23. 角田麻理, 久須見有美, 重安千花, 山田昌和, 磯谷一暢, 菅間博: 増大と縮小を繰り返した涙腺貯留嚢胞の1例. 臨眼. 77(6). 716-720. 2023.
24. 三浦夏紀, 岡戸聡志, 片岡恵子, 伊藤逸毅: 診断にOCTアンギオグラフィが有用であった漿液性網膜剥離と視神経乳頭炎を合併した急性後部多発性斑状色素上皮症の1例. 臨眼. 77(10). 1247-1254. 2023.
25. 慶野博: 眼科医の手引 COVID-19 ワクチン接種後のぶどう膜炎. 日の眼科. 94(5). 600-601. 2023.
26. 厚東隆志: 今日からできる プチビジョンケア通信 変視症, 小視症, 大視症とアムスラーチャート. 日の眼科. 94(6). 734. 2023.
27. 片岡恵子: 今日からできる プチビジョンケア通信 加齢黄斑変性の治療は長期戦. 日の眼科. 94(12). 1686. 2023.
28. [MSOffice14]井上真: 網膜硝子体硝子体手術機械の不具合. 眼科 臨時増刊号. 65(10). 1051-1054. 2023.
29. 水野雅春, 厚東隆志: 白内障術後合併症. 知っておきたい眼科処置・手術の合併症対策と予防. 眼科 臨時増刊号. 65. 973-977. 2023. [MSOffice15]

30. 山田昌和：小児・斜視弱視 先天性角膜混濁. あたらしい眼科. 40(臨増). 117-121. 2023.
31. 慶野博：ぶどう膜炎を見逃すな!. 眼科グラフィック. 12(5). 503-512. 2023.
32. 片岡恵子：抗 VEGF 薬の種類と特徴. OCULISTA. 127. 1-6. 2023.
33. 北善幸：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 続発緑内障. 医事新報. 5192. 51-52. 2023.
34. 重安千花, 山田昌和, 西田希, 大家義則, 川崎良, 西田幸二：前眼部形成異常の診療ガイドラインの使用状況調査. 日眼会誌. 128(1). 14-20. 2024.
35. 大家義則, 西田希, 重安千花, 川崎良, 山田昌和, 西田幸二：無虹彩症の診療ガイドラインの使用状況実態調査. 日眼会誌. 127(臨増). 169. 2024.
36. 加藤圭一, 山田昌和, 平塚義宗, 丸山耕一, 竹田眞純, 近藤永子, 原信哉, 野下純世, 鹿野由利子, 小沢忠彦, 白根雅子：AC ジャパン支援キャンペーンによる緑内障啓発の効果. 日の眼科. 95(1). 82-87. 2024.
37. 慶野博：小児ぶどう膜炎のマネージメント. 日の眼科. 95(3). 320-325. 2024.
38. 片岡恵子：治療抵抗例に対する薬剤変更. 眼科. 66(1). 15-19. 2024.
39. 前田菜津子, 厚東隆志, 石田友香, 慶野博, 井上真, 平形明人：自然寛解した小児の黄斑上膜の1例. 眼科. 66(1). 69-72. 2024.
40. 前田紗知衣, 久須見有美, 鈴木美音, 安藤良将, 重安千花, 山田昌和：両眼に Purpurocillium lilacinum 角膜炎を発症した1例. 眼科. 66(1). 69-72. 2024.
41. 山田昌和：もっと知ろうよ！マイボーム腺の生理学 -Meibum の整理と機能に関する10のクエスチョン. あたらしい眼科. 41(1). 9-13. 2024.
42. 慶野博：広角眼底撮影 内科的病態. OCULISTA. 132. 54-60. 2024.
43. 井上賢治, 平塚義宗, 有馬武志, 大西由花, 堅田侑作, 久保寛之, 小林めぐみ, 齋藤雄太, 篠崎和美, 野田知子, 林孝彦, 平形明人, 堀裕一, 溝田淳, 稲毛佐知子, 倉本慶子, 前田利根, 福田敏雅：東京版スマートサイト「東京都ロービジョンケアネットワーク」の5年間の運用実績. 眼臨紀. 17(1). 5-11. 2024.

## 著書

1. 井上真 (分担執筆)：麻酔方法 (球後麻酔、テノン嚢下麻酔). 外来処置・症手術で求められる手技のコツとこだわり 今さら聞けないことをあえてベテランに聞く. 野田実香 編集. メデ

イカ出版. 2023. 36-40.

2. 井上真 (分担執筆) : 術中 OCT の活用. I 硝子体界面疾患. 新篇眼科プラクティス 11 まるごと黄斑疾患. 辻川明孝 編集. 文光堂. 2023. 40-43.
3. 井上真 (分担執筆) : 眼内レンズと眼底視認性. 新篇眼科プラクティス 12 眼内レンズの知識を深める. 大鹿哲郎 編集. 文光堂. 2023. 59-60.
4. 平形明人 (分担執筆) : 眼科医療とロービジョンケア. 視能学エキスパート ロービジョンケア. 新井千賀子, 田中恵津子他 編集. 医学書院. 2024. 2-6.
5. [MSOffice16]山田昌和 (分担執筆) : Contact lens discomfort. 新編眼科プラクティス 9 必読! コンタクトレンズ診療. 前田直之, 大鹿哲郎 編集. 文光堂. 2023. 38-39.
6. 慶野博 (分担執筆) : ぶどう膜 生物学的製剤によるぶどう膜炎治療. 眼科学レビュー2023~2024. 大鹿哲郎 監修. 総合医学社. 2023. 117-123.
7. 慶野博 (分担執筆) : 眼内悪性リンパ腫の診断. 眼科診療エクレール 2 最新眼科画像診断パワーアップー検査の基本から最新機器の撮影法まで. 辻川昭孝 編集. 中山書店. 2023. 305-310.
8. 厚東隆志 (分担執筆) : 術中 OCT. 眼科診療エクレール 2 最新眼科画像診断パワーアップー検査の基本から最新機器の撮影法まで. 辻川昭孝 編集. 中山書店. 2023. 295-298.
9. 厚東隆志 (分担執筆) : ピット黄斑症候群. 新篇眼科プラクティス 11 まるごと黄斑疾患. 辻川明孝 編集. 文光堂. 2023. 51-54.
10. 厚東隆志 (分担執筆) : 基本知識 ドレーピング・開瞼器の掛け方. 外来処置・症手術で求められる手技のコツとこだわり 今さら聞けないことをあえてベテランに聞く. 外来処置・症手術で求められる手技のコツとこだわり. 野田実香 編集. メディカ出版. 2023. 30-35.
11. 鈴木由美 (分担執筆) : 睫毛内反. 私の治療 2023-24 年度版 (電子版). 日本医事新報. 2023. 49-50.
12. 鈴木由美 (分担執筆) : ロービジョンケア 義眼 小児の義眼. 視能学エキスパート. 新井千賀子, 田中恵津子他 編集. 医学書院. 2023. 202-204.
13. 鈴木由美 (分担執筆) : そこが知りたかった! 弱視斜視診療のポイント 恒常性外斜視. 新編眼科プラクティス 14. 佐藤美保, 三木淳司 編集. 文光堂. 2024. 175-176.
14. 鈴木由美 (分担執筆) : 解剖生理・検査法 内斜視の手術. 眼科診療エクレール 4 最新弱視・斜視診療エキスパートガイド. 佐藤美保, 園田康平 編集. 中山書店. 2024. 251-258.
15. 福井正樹 (分担執筆) : 角結膜 角膜内皮移植後の移植片脱落. 知っておきたい眼科処置・手

術の合併症対策と予防. 眼科 臨時増刊号. 65. 945-948. 2023.

16. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 (共編): 新眼科診療クローズアップ. メジカルビュー. 2023.
17. 山田昌和 (分担執筆): 問診と視診 (まずは「診察」しましょう). 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 2-15.
18. 鈴木由美 (分担執筆): 眼位の正常と異常. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 19-22.
19. 鈴木由美 (分担執筆): 眼球運動の正常と異常. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 23-28.
20. 鈴木由美 (分担執筆): 眼瞼の位置, 動きの正常と異常. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 24-33.
21. 富田茜 (分担執筆): 視力・屈折は眼科診療の基本. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 34-47.
22. 松木奈央子 (分担執筆): 水晶体のチェックポイント. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 87-90.
23. 山本雅, 齊藤恒浩 (分担執筆): 眼圧系の使い分けとコツ. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 96-99.
24. 北善幸 (分担執筆): 視神経のチェックポイント (主に緑内障と類縁疾患). 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 100-105.
25. 高橋綾, 厚東隆志 (分担執筆): 網膜血管のチェックポイント. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 110-114.
26. 中山真紀子, 厚東隆志 (分担執筆): 黄斑部のチェックポイント. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 115-120.
27. 石田友香 (分担執筆): 白斑とドルーゼンのチェックポイント. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 121-124.
28. 石田友香 (分担執筆): 網膜出血のチェックポイント. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 125-127.
29. 水野雅春, 厚東隆志 (分担執筆): 眼底観察法と周辺部網膜のチェックポイント. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 128-132.
30. 中島康介, 廣田和成 (分担執筆): 硝子体のチェックポイント. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 133-137.

31. 津田麻祐子（分担執筆）：涙液・涙道検査．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．138-141．
32. 久須見有美（分担執筆）：細菌学的検査．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．142-145．
33. 津田麻祐子（分担執筆）：免疫クロマトグラフィー検査．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．146-148．
34. 久須見有美（分担執筆）：角膜形状解析．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．149-151．
35. 矢田長洋，齊藤恒浩（分担執筆）：隅角の画像検査（前眼部 OCT，UBM，ゴニオスコープ）．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．152-155．
36. 久須見有美（分担執筆）：角膜内皮検査．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．156-157．
37. 片岡恵子（分担執筆）：OCT（黄斑編）．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．158-162．
38. 北善幸（分担執筆）：OCT（緑内障編）．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．163-167．
39. 片岡恵子（分担執筆）：OCT angiography (OCTA)．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．168-171．
40. 中山真紀子（分担執筆）：蛍光眼底撮影（FA と IA）．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．172-175．
41. 齊藤翔子，慶野博（分担執筆）：眼底自発蛍光（FAF）．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．176-179．
42. 中島康介，厚東隆志（分担執筆）：超音波検査．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．199-202．
43. 長堀克哉，慶野博（分担執筆）：血液検査（ぶどう膜炎，膠原病を想定）．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．212-214．
44. 齊藤翔子，慶野博（分担執筆）：血液検査（視神経疾患，眼球運動障害を想定）．新眼科診察クローズアップ．山田昌和，慶野博，平形明人 編集．メジカルビュー．2023．215-216．
45. 山田健司，柳沼重晴（分担執筆）：CT，MRI（眼内・眼窩病変）．新眼科診察クローズアップ．

山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 217-220.

46. 山田健司, 柳沼重晴 (分担執筆): 病理検査. 新眼科診察クローズアップ. 山田昌和, 慶野博, 平形明人 編集. メジカルビュー. 2023. 226-229.

## 報告書

1. 山田昌和, 重安千花, 久須見有美: 分担研究報告書「前眼部形成異常の診療ガイドラインの普及・啓発活動」. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業)) 「前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成に関する研究」. 2023.

## その他

1. 山田昌和: それって「アイフレイル」かも? 眼球の“変形”が引き起こす失明・視力障害のリスク. 産経デジタル. 2023年5月31日.
2. 山田昌和: 「見つめ直す! 目の健康」. マイあさ! 健康ライフ. NHK ラジオ. 2023年6月19日~23日.
3. 平形明人: Book Review. 今日の眼疾患治療指針 第4版. 臨眼. 77. 906. 2023.
4. 平形明人: 名医のいる病院 2024 「眼の病気」. 医療新聞社. 2023. 503-506.
5. 厚東隆志: ERM に対する硝子体手術の神は細部に宿る?. JRVS times. 25. 8. 2023.
6. 厚東隆志: 今日のセカンドオピニオン アトピーと関連する目の病気がある?. 毎日新聞. 2023年11月1日.
7. Shimoda Y, Oyama M, Okada AA: Report on the 41st Conference of the Kyorin Medical Society. Lecture by Professor Samuel T. Hwang: Eureka! Lessons learned by a physician-scientist from the NIH. J Kyorin Med Soc. 54. 119-120. 2023.
8. 井上真: (どうしました) 左目が黄斑前膜、手術は? 井上真さん. 朝日新聞. 2024年1月17日.
9. 山田昌和: 巻頭言 石の上にも三年, アイフレイル. 日の眼科. 95. 2024.